

MC医師研修(初級)比較(救命救急処置について)

	福岡	兵庫
スライド枚数 (総数)	41	46
スライド枚数 (両群で完全に一致していたもの)	22	22
スライド枚数 (両群で内容的に一致していたもの)	13	13
スライド枚数 (一方しかないスライド)	6	11

(考察)本項目については、例年同じ講師がされているのか、財団が指定する項目がきっちりしているのか講義内容にほとんどばらつきがなかった。(1)両群で一致した部分:講義内容:①救急救命処置について②救急救命士の処置範囲の拡大について③オンラインMCについて。設問①救急救命処置を列挙しなさい。②経口あるいは経鼻エアウェイの使用について③医師の具体的な指示で行う特定行為についての列挙④呼吸停止時の食道閉鎖式エアウェイの使用について⑤特定行為での直接指示について⑥オンラインMCのデメリットなど。(2)両群で一致していなかった部分:兵庫分は上記に加え、救急救命士のキャリアパス、プロトコルについても実例を挙げながら、説明が付け加えられていた。(まとめ)本項目については、両群において指導スライドや内容に大きな差が認められなかった。